

令和元年 10月 30日

長崎市長 田上 富久 様

長崎市道の駅夕陽が丘そとめ指定管理者候補者選定審査会

会長 赤石 孝次



長崎市道の駅夕陽が丘そとめ指定管理者候補者選定審査会
における審査結果について（報告）

長崎市道の駅夕陽が丘そとめの指定管理者候補者の選定に係る申請内容の審査を行いましたので、審査結果について次のとおり報告します。

1 審査結果

第一順位 そとめ「食」と「農」の架け橋

2 選定審査会の構成

会長 赤石 孝次（国立大学法人長崎大学経済学部）

職務代理者 岩崎 裕介（九州北部税理士会長崎支部）

委員 紫垣 大（一般社団法人 日本自動車連盟）

委員 一瀬 究（外海地区連合自治会）

委員 田口 勉（長崎市北部商工会）

3 申請団体

(1) そとめ「食」と「農」の架け橋

(2) NPO夕陽が丘そとめ

4 審査の方法

(1) 資格審査

応募者から提出された書類により、長崎市において応募資格等の審査を行った結果について、次のとおり報告を受けました。

団体名	資格審査結果
そとめ「食」と「農」の架け橋	応募資格等を満たしている。
NPO夕陽が丘そとめ	募集要項10応募に関する事項（3）必要な資格等のイを満たしていない。

(2) 書類・面接審査

応募資格等を満たしている団体の事業計画書等の内容について、面接により本審査会において審査を行いました。審査の結果、指定管理者候補者として適当と認められるた

め、選定しました。

審査にあたっては、公平性及び公正性を確保するため、団体名を伏せて実施しました。

なお、長崎市から、応募資格等を満たしていない団体については、面接審査は行わず失格とする報告がなされ、了承しました。

5 審査の経緯

回数	開催日	内容
第1回	令和元年 7月 31 日	<p>【全委員出席】</p> <ul style="list-style-type: none">・会長及び職務代理者の選出・指定管理者制度及び指定管理者候補者選定審査会の概要説明、募集要項等についての協議
第2回	令和元年 10月 9日	<p>【全委員出席】</p> <ul style="list-style-type: none">・現地視察・面接審査方法についての協議
第3回	令和元年 10月 30日	<p>【一瀬委員欠席】</p> <ul style="list-style-type: none">・審査方法等確認・面接審査、指定管理者候補者団体の選定

6 採点結果（委員5人中4人による採点は別紙のとおりです。）

第一順位 そとめ「食」と「農」の架け橋

外海地区の特産物や世界遺産を有効に活用できる事業計画となっている。また、消費者ニーズだけでなく、生産者である農家の経営安定や生活基盤にも目を向けるなど、地域活性化のために複合的な視点で取り組む姿勢については高く評価できる。なお、物産販売所の拡充を図るとともに、インバウンドなどの誘客対策についてはやや不足しているため、IT活用による情報発信を行うなどの取り組みに期待したい。

(別紙) 採点結果

区分	評価項目			配点			採点 第一順位 そとめ「食」と 「農」の架け橋	
	大項目	中項目	詳細	各委員	全體	計		
事業計画	施設の設置目的と計画	施設の効用を最大限に發揮し、「地域の振興」及び「道路利用者の利便性の向上」に資するという施設の設置目的が達成されるものであるか	8	32	80	30	70	
		施設の利用者の増加や利便性を高めるための提案、積極的な「地域情報の発信」、自主事業の提案であるか	4	16		13		
	物産販売所及びレストランの運営	地域の特性を活かした「地元産品にふれあう場」として、地域住民（出荷者を含む）及び地域外の利用者を対象とした運営であるか	4	16	13			
	評価と改善	事業の評価・改善体制があるか	4	16		14		
技術点	基本事項	当該施設の管理・運営業務について、施設の設置目的等に合った基本方針・理念を持っているか	8	32	64	28	56	
		施設の利用に関し、公平性を確保する考え方と方策が適切であるか	4	16		15		
		施設の利用者の個人情報の保護に関する措置は適切か	4	16		13		
	管理運営体制	人員配置	職員配置は、当該施設の業務を行うのに適切か	8	32	80	24	68
		収支計画・施設管理	当該施設の業務に係る収支予算書・管理に関する基本的事項は適切であるか	8	32		28	
		緊急時の対応	緊急時における、連絡体制等危機管理体制は適切か、また、事故防止対策の考え方と取組みについては適切か	4	16		16	
技術点 計				56	224		194	
価格点	価格	経費	経費は適正か ※上限の範囲内において、一定の基準額までは経費の削減努力を評価しますが、その基準額を下回る場合はサービス水準の低下が懸念されるところから、評価が下がります。	24	96		80	
合 計				80	320		274	